

## 東京都地方独立行政法人評価委員会 令和5年度第2回都立病院分科会 議事要旨

### 1 開催日時

令和5年7月19日（水曜日）から同月28日（金曜日）まで

### 2 開催場所

訪問又はWEB会議による持ち回り開催

### 3 出席委員 ※ 分科会長を除き五十音順

福井分科会長、井伊委員、大坪委員、児玉委員、坂本委員、本田委員、山口委員

### 4 審議事項

地方独立行政法人東京都立病院機構の令和4年度業務実績評価について

### 5 議事概要

#### 【評価委員】

- ・ がん手術件数の目標については、過年度実績に基づく目標設定だけではなく、手術室の稼働効率化の観点も踏まえた目標設定を検討されたい。このほか、新入院患者数等の指標を目標値として設定することが望ましい。
- ・ コロナ陽性妊婦の受入れについて、他の民間病院が相当苦勞していた中、都立病院が率先して受け入れたことを高く評価しており、周産期医療については評定Sとすることも検討すべきではないか。
- ・ 難病医療について、てんかん手術件数の達成度とセンター開設をもって評定Aとして見えるように見えるが、センターの機能や貢献内容など、評定Aの理由が明確に伝わるように評価の説明をより具体的にすべきではないか。
- ・ 総合診療の確保・育成について、方針を策定するなど取組を開始したことについては評価する。総合診療は今後推進が求められており、今後の取組や実績に期待する。また、地域医療機関や大学医学部との連携も行いながら、引き続き取り組んでもらいたい。
- ・ 健康増進及び疾病予防に向けた普及啓発について、コロナ対応を優先して行う中、本項目の取組に注力できない状況であったと思料する。今後、都立病院が率先して啓蒙活動や講座の実施や、ホームページにおけるコンテンツの充実に取り組み、都民の健康増進や疾病予防に寄与してほしい。
- ・ アドバンス・ケア・プランニングは、患者を主体に、その家族や近しい人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、患者の意思決定を支援する重要な取組であるので、都立病院が地域における取組の中心となりながら、積極的に推進してほしい。

- ・ 患者満足度は非常に重要であり、調査を行うだけでなく、その結果の分析や共通指標を用いた病院別の比較を行い、調査結果に基づいて各病院の医療提供の充実に反映されたい。なお、次年度の報告においては、上記を踏まえた具体的な報告をお願いしたい。
- ・ 患者中心の医療の推進について、都の評価案において、患者満足度の向上を求めていることから、患者満足度に関する評価内容を加筆すべきである。
- ・ 荏原病院が新たに医療の質可視化プロジェクトに参加するなど、新たな取組を積極的に行ったことについて、今後のさらなる取組の展開に期待できるため評価したい。質の高い医療の提供について評定Aとした都の評価案を支持する。
- ・ 地域への感染対策に関する指導などの取組は積極的に行っていただきたい。
- ・ 論文執筆数等、数値実績を示していただきたい。
- ・ 医師の働き方改革について、タスクシフト・タスクシェアの推進や効率的な業務体制の構築、救急部門における人材確保など、今後の取組に期待する。また都立病院として、効果的な取組について都における他の病院のモデルとして示していくことが求められる。
- ・ 新卒看護師離職率はコロナ禍による影響が少なからずあったと思料される。なお、評価案に「全国的に新卒看護師の離職率が増加」という記載があるが、補足をお願いしたい。
- ・ 病院間での人事交流を一層進めるほか、リモート会議等も活用し、法人本部や各病院の間で頻繁に意見交換を行う場を設けるなど、スケールメリットを生かした取組の推進に期待する。
- ・ 4つのプロジェクトなど、法人運営の基盤構築に向けた取組の成果は今後表れるものであり、今年度においては、業務運営の改善及び効率化について評定Bとすることも検討すべきである。
- ・ 収支目標について法人全体の目標となっているが、病院の運営状況の可視化のため、病院ごとに、その特色を踏まえた目標値を設定し、それに対する実績により全体として評価を行うべきである。
- ・ 病床利用率が低く、財務内容の改善について評定Bが妥当である。安定的な経営基盤を維持していくため、医業収支の改善に向けて病床利用率の向上に努めるべきである。
- ・ 共同購入などは、地方独立行政法人としてのスケールメリットを活かせる取組であり、ぜひ進めてほしい。
- ・ 行政的医療の安定的な提供のため、運営費負担金により都民の大切な税金を充てていることも踏まえながら、都民や地域から求められる医療について着実に提供できるよう、計画立てて適切な支出を行っていくことや未収金発生防止に向けた取組を推進していくことが重要である。
- ・ 公的機関や病院を狙ったサイバー攻撃が多発する中、職員への研修やセキュリティの強化といった予防ももちろんのこと、万が一攻撃を受け感染した場合の影響を踏まえ、

復旧・バックアップ体制を強化していくことが重要である。

- ・ 独法化のメリットを生かし、契約締結権限の院長等への付与や随意契約の範囲の見直し等により業務効率化に取り組んでいることは評価できる一方、法人として汚職や談合を防ぐチェック機能を確実に運用していく必要がある。
- ・ 独法化前から続いた三年間のコロナ対応について、職員が全力を尽くし続けたことに感謝したい。
- ・ 目標値の設定にあたっては、依頼に基づいて対応するものや、外部要因による影響が大きいものについては、単に件数だけではなく依頼に対してどれだけ応えたかを示すなど、目標の立て方を工夫されたい。また、より客観的な評価を行うことができるよう、指標を追加していくことも検討してほしい。
- ・ 実績報告にあたっては、新たに構築した体制や新規の取組などについて、その成果が伝わるように実績の報告をお願いしたい。また、都民への積極的な情報発信を期待する。
- ・ 運営費負担金の措置額とその意義、病院経営上の民間病院との相違点等について記載し、委員や都民に分かりやすくしてほしい。

#### 【事務局】

- ・ 本分科会で頂戴した意見については、第3回都立病院分科会に向けて、評価案への反映や対応について検討する。
- ・ 第3回都立病院分科会では、頂戴した意見を反映した意見書案をご審議いただき、業務実績評価に係る評価委員会の意見として決定していただきたい。